



神奈川県

KANAGAWA

はじめよう! もしものためにできること

災害時の

トイレのそなえ



大規模災害発生時のトイレ事情

断水や停電、設備の損傷などでトイレが使えなくなる可能性があります

想像以上に深刻な健康被害も引き起こす災害時のトイレ

\ 動画はこちら /



今から始めたいトイレのそなえ

問題を解決するのは「携帯トイレ」

1人1日5回、最低3日分は備蓄しましょう

神奈川県くらし安全防災局 防災部 危機管理防災課 応急対策グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 西庁舎5階 TEL **045-210-1111** (代)

事前に準備しておきましょう

携帯トイレ

排泄物を吸水シートで吸収するタイプや、凝固剤で固めるタイプがあり、どちらもトイレの便器にとりつけ使用します。

準備物

- 携帯トイレ1セット
- ポリ袋1枚

携帯トイレの使い方



1

便座をあげて便器にポリ袋をかぶせます。



2

便座をおろして、その上から携帯トイレの袋をかぶせます。



3

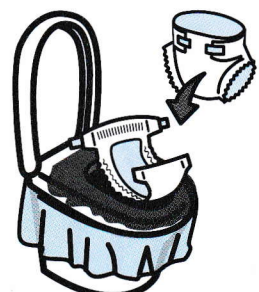
用を足した後、排泄物を固めるシートか凝固剤を入れます。

※凝固剤を入れるタイミングは製品により異なります。



4

便器につけた携帯トイレを外して口をしっかりとしばります。



代案

携帯トイレがない場合の応急対応として、ポリ袋の中に、おむつやペットシートを入れ代用することもできます。

いきなり災害にあった時は

応急トイレ

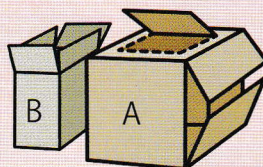
断水や停電などで、急にトイレの水が流せなくなってしまった場合。段ボールでトイレを作ることもできます。

準備物

- ほどよいサイズの段ボール箱（大・小）
- 補強に使用する段ボール
- ポリ袋（大・小）2枚
- 粘着テープ

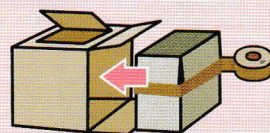
応急トイレの作り方

1



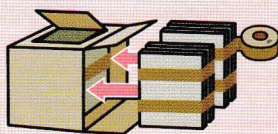
Aを横向きに置いてBに合わせて印をつけ、短い方の一辺を残して5mm内側を切って、便座とふた部分を作ります。

2



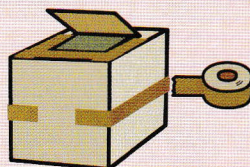
Bのふた部分は粘着テープで外側に固定し、奥に補強用段ボールを入れてからBをAの中に入れます。

3



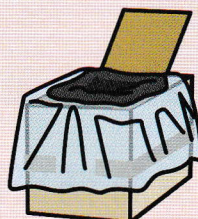
AとBの隙間のサイズに合わせた補強用段ボールを粘着テープで巻いて詰めます。

4



Aを閉じ、しっかり粘着テープで補強します。段ボールは水に弱いので、便座部のふたもしっかりテープでカバーします。

5



ポリ袋大を全体にかぶせ、内側にポリ袋小をセットします。用を足し終わったら上のポリ袋のくちを結んで自治体指定の場所に捨ててください。

※一定期間保管したのち廃棄する必要があります。